

10/

春作業の負担軽減へ

15 イネ初冬直播き栽培検証事業

農作業が集中する春作業の負担軽減を目指す「イネ初冬直播き栽培検証事業」を10月15日（火）沼田町中山間地域等直接支払制度推進協議会（福島宏充会長）で取組まれました。

「イネ初冬直播き」とは、初冬の田んぼにイネの種子を直播きし、そのまま土中で越冬させ、翌春に発芽・苗立ちさせる新たな作型です。

今回の栽培検証は石田隆広さん（沼田1）、みやわきひでき宮脇英樹さん（北竜2）の圃場で行われ、ロータリー、施肥、播種、ローラーが一体となったスリップローラーシーダー（播種機）を使って作業が進められました。



10/

充実した体験ができました

16 脱穀・粃摺り体験事業

沼田小学校（吉田純一校長）5年生が、10月16日（水）脱穀・粃摺り体験を行いました。

児童達は自分達で刈り取りを行った稲を手に取り、順番に脱穀作業に取り掛かりました。児童は、職員に手を添ってもらいながら慎重に作業を進め、脱穀した後は粃を粃摺り機に入れる作業を行い、玄米に仕上げました。

一連の作業を終えた児童達は充実した様子で「みんなで作業して楽しかったし、これからもたくさんの人に沼田町の美味しいお米を食べてほしい」と笑顔で話しました。



10/

共同生活でたくさん学びました

17 沼田っ子の夢応援事業（合宿通学）

教育委員会が主催する沼田っ子の夢応援事業（合宿通学）が10月16日（水）から19日（土）までの4日間、宿泊交流センター「夢未来」で行なわれました。

小学5年生16名が参加したこの事業は、規則正しい共同生活を送り、沼田町をよりよく知ることと、ふるさとの魅力について学び発見することを目的として行われています。地域の方からの講話では、うすいまゆみ三北のほたるファクトリーに勤務する臼井真由美さん（市内5）から沼田町で栽培されたトマトの特徴や品種のこだわりについて話され、最後にトマトジュースの試飲をした児童は「飲みやすいし、すごい美味しい」と満足した様子で話しました。



10/18 **特設行政相談所**

お困りごとは是非ご相談を

町民会館にて、特設行政相談所が10月18日（金）開かれました。

特設行政相談所とは、国の仕事や行政サービス等についてのお困りごとやご相談等に応じ、住民からの声を迅速に収集して分析した後、行政サービスの改善に繋げるなどの目的として行われ、当日は役場各課の職員が出席し、相談に当たりました。

沼田町行政相談委員を務める野々宮 宏 氏（仲町東）は「困りごとがある方も、気軽に相談していただきたいと思いますし、一緒になって解決できるよう努めていきたい」と力強く話されました。

今後も毎月町民会館にて月例行政相談所を開設し、行政相談員が皆さんのご相談に応じていますので、是非お立ち寄りください。



10/19 **地域を笑顔でつなぐ福祉講演会**

地域共生社会の実現に向けて

沼田町社会福祉協議会（松田剛会長）が主催する地域を笑顔でつなぐ福祉講演会が10月19日（土）ふれあいすこやかホールで開催されました。

この講演会は、北星学園大学社会福祉学部地域社会貢献事業として開催され「地域共生社会の実現に向けて～参加者の自己肯定感を高める地域の居場所づくり～」をテーマに北星学園大学社会福祉学部社会福祉学科岡田直人教授にご講演いただきました。

地域の担い手を確保するヒントなど5つのポイントについてお話しいただき、地域の担い手確保の課題について考える場となりました。



10/20 **沼田町謎解き観光ツアー**

沼田町の幻のグルメを探せ

町内の観光地を沼田町の子ども達に楽しく学んでもらうため、町観光協会（吉住淳男会長）が主催し、沼田町謎解き観光バスツアーが10月20日（日）開催されました。

中学生7名、小学生16名は本願寺駅通やクラス15号などの観光地に設置された謎を解き明かしながら町内を巡りました。

ツアーの最後は、そらち自然学校でバーベキューを楽しみ、美味しいお肉を食べて大満足の様子でツアーを振り返っていました。



10/ マナーを守ってバスに乗ります

23 バスの乗り方教室

沼田中学校（里館幹彦校長）3年生が、10月23日（水）バスの乗り方について講義を受けました。

バスの乗り方教室はJR留萌本線廃止に伴い、高校進学をする生徒が町外へバスを利用し通学することが予想されるため、バス乗車した際のマナーや降車ボタンや整理券のしくみなどについて学ぶことを目的として空知中央バス株式会社の協力を得て行われ、生徒はバスに乗車した後、町内を回り、バスの乗り方について1つ1つ学びました。

空知中央バス株式会社 泉 貴大いずみ たかひろさんは「お年寄りや足の不自由の方に席を譲るなどして皆さんが周りに気配りできるような人になってほしい」と話され、沼田中学校生徒も「みんなが気持ちよくバスに乗れるようにしたい」と話しました。



10/ 目指せ！全道優勝！

24 小学生バレーボール道北ブロック大会出場

沼田リトルポプラが11月2日（土）～3日（日）に北海道稚内市で開催されるイエスタ杯第44回北海道小学校バレーボール道北大会（女子の部）に出場することから、沼田小学校部員の代表6名が10月24日（木）役場を訪れました。

キャプテンを務める横山ひなたよこやま ひなたさんは「みんなで力を合わせて頑張ります。目標は全道優勝です」と力強く決意表明し、横山町長は「普段の練習の成果を思う存分発揮してほしいと思います。全道優勝期待して待っています」と激励されました。



10/ 介護ネットワークづくり

25 楽ワザスタディ in 沼田

町介護アドバイザーである青山幸広あおやまゆきひろ氏を講師として招き、2日間にわたり介護技術を学ぶ研修会が開催されました。

遠くは青森県や札幌市、旭川市などから約30名の介護関連職員が参加され、青山氏による介護技術「楽ワザ」の技術講習、青森県デイサービス「いぶし銀」スタッフによる講話やグループディスカッションなど介護技術の向上、互いの悩みを話し合える場となりました。

町介護施設では、今後も多くの介護関係者と情報交換できる介護ネットワークを構築していきたいと考えています。



11 / 3 交通事故のない町を目指して 沼田町交通安全町民大会

沼田町、沼田町交通安全運動推進委員会、沼田町交通安全協会が主催する交通安全町民大会が11月3日（日）町民会館で開催されました。

開会にあたり横山町長は「今年交通事故死ゼロ4500日を達成できたのは、各機関と町民皆さまの日頃からの交通安全への意識の持ち方、取組のおかげです」と挨拶され、深川警察署沼田警察庁舎おおしませいじ大島誠司所長は「住民の方々が安心安全に暮らせるよう、今後も交通安全活動に取組んでいきます」と述べられました。



大会では、こども園や小学生を対象の交通安全標語・ポスターの表彰が行われ、入賞者には町交通安全協会の西尾昌浩にしおまさひろ会長より賞状が手渡されました。

また表彰式終了後、深川警察署の上村健太郎かみむらけんたろう交通課長から交通事故の危険性について講演していただき、最後に商工会青年部の木村拓哉きむらたくや部長による交通安全宣言が行われ、交通事故のない町を目指して交通安全に対する意識を参加者で再確認しました。

事業継続・魅力向上ぬまた活性化支援事業補助金を交付いたしました。

店舗の新築や空き店舗等を活用した新たな商業活動、起業や商品開発等への取組、事業を継続するための取組、まちおこし事業や自主的・継続的なまちづくりの取組経費などを一部助成する「事業継続・魅力向上ぬまた活性化支援事業補助金」を交付しました。

| 日付 | 交付先 |
|------------|-------------------|
| 令和6年 9月 9日 | 株式会社小泉商店（小泉英之氏） |
| 10月 3日 | Chapter（矢部昌弘氏） |
| 30日 | 株式会社空知こめ工房（木村拓哉氏） |

企業版ふるさと納税のご寄附をいただきました

企業版ふるさと納税をいただいた企業様をご紹介します。

なお、公表についてご了承をいただいた企業様のみ掲載しております。（敬称略）

| 会社名 | 所在地 | 寄附いただいた事業 | 寄附額 |
|------------|--------|-------------------------|-----|
| 株式会社ネクシス光洋 | 北海道旭川市 | そらち自然学校・ワーケーション拠点施設運営事業 | - |

令和6年度企業版ふるさと納税寄附総額 170万円

令和6年度 町民芸術祭

町民芸術祭（同実行委員会主催）の芸能発表が、11月3日（日）町民会館で行われました。出演者は、日頃の練習の成果を発揮し、発表が終わると会場からは大きな拍手が起こりました。



▲沼田中学校吹奏楽部 & 沼田吹ガールズ



▲沼田箏秀会



▲ Petit ballet school Lana



▲菅原音楽教室



▲ EOS DANCESTUDIO



▲島田音楽学院



◀沼田詩吟道場



▲沼田夜高太鼓



▲一般社団法人 N-link.



▲歌声サークル&ウクレレサークル



▲吟剣詩舞和翔流

▲八重樫音楽教室



▲飯田音楽教室

沼田小学校学習発表会が開催されました!

沼田小学校（吉田純一校長）の学習発表会が、10月12日（土）開催され、「呼び起せ みんなの絆！笑顔と感動のステージ！」のテーマのもと、1年生から6年生まで全児童が練習してきた成果を十分に発揮し、ダンス、劇などそれぞれの個性を活かした発表を行い、会場は温かい拍手に包まれました。

最後の6年生の劇が終わると、6年生から「仲間と心をつなげて、皆さんに笑顔をお届けすることができた。どの学年も練習の成果を発揮して最高の発表となりました」と全員で挨拶しました。



1年生 - 色鉛筆の色になりきり、元気いっぱいのダンスを披露しました。



2年生 - おむすびころりんを大きな声で堂々と役になりきっていました。



3年生 - 息の揃った器楽合奏や流行りの曲や昭和歌謡などのダンスを披露しました。



4年生 - 落語を演劇で披露し、豊かな表現力で会場を笑いで包み込みました。



5年生 - 大迫力の器楽合奏や、ダンスでは、曲の世界観にあったダンスを披露しました。



6年生 - 最高学年として、高い演技力で劇の世界に観客を引き込んでいました。